

	号外 昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	定価1部2円	職場実態をつかみ、組合員のきめ細かい要求を積み上げるためにも分会体制の早期確立をお願いします。
		発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合	

2017退職手当見直し 4.19-人事院・国公退職手当見直し見解表明

人事院

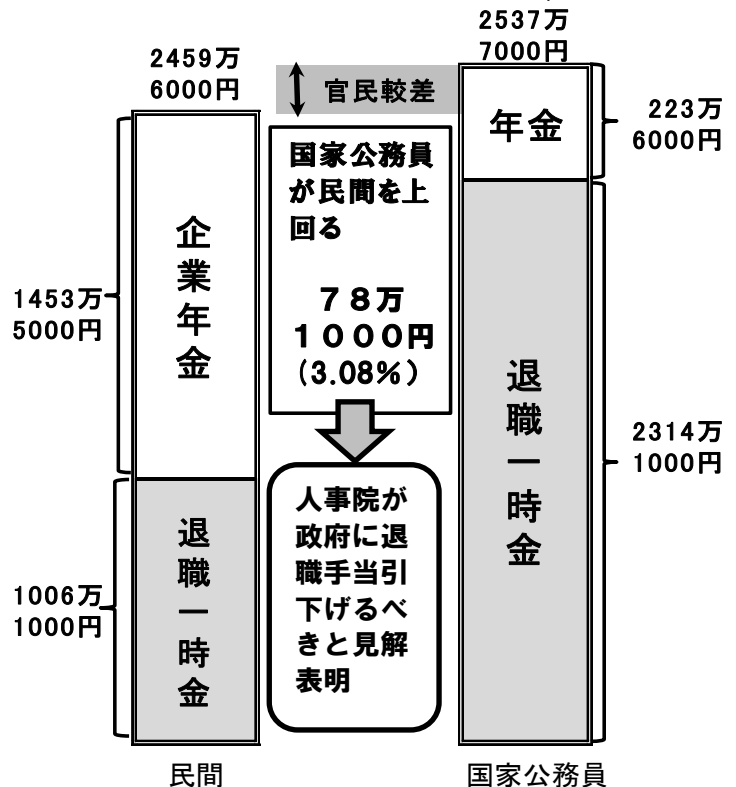
また退職金減らされるの？ 5年前400万削減されたばかり！

退職金78万引き下げ見解

手当引下げに断固反対／地方公務員への波及阻止を地公共闘 手当水準維持に向け闘争強化へ

人事院は、4月19日、昨年8月の政府の要請を踏まえ、民間企業における企業年金及び退職金の実態調査結果とそれに基づく見解を表明した（国家公務員の退職給付は5年に1回の頻度で民間実態を調査し、その結果を踏まえて見直しの要否を判断）。

退職給付水準の官民較差（企業年金（使用者拠出分）と退職一時金を合わせた退職給付総額での官民比較）は、民間24,596千円に対し、公務25,377千円で、公務が78万1千円（3.08%）上回るとし、「官民均衡の観点から、退職給付水準について見直しを行うことが適当」と見解を表明し、公務員の退職給付水準を民間並みに引き下げよう政府に意見書を提出した（概要は右図）。



政府は今後、手当引下げに向けて退職手当法の改正を検討するが、問題は手当引下げの地方公務員への波及だ。5年前の見直し時は総務省が地方に国に準じて2012年度退職者からの約400万円の手当引下げを強要してきた。当県では県地方公務員共闘会議（議長：岩教組委員長）に結集して粘り強い取り組みをし、実施期間を2013年度退職者からとするなどの押し戻しをしたものの、引下げ自体に歯止めをかけることは出来なかった。今回更に引き下げとなれば生涯賃金の大幅な減少と職員の勤務意欲の失墜は明らか。地公共闘は、国の動向を注視しつつ、手当水準の維持のため、知事あて要請書の提出を皮切りとして闘争体制を強化していく。

問題だらけ・引下げありきの人事院見解！ 手当で引下げ・地方波及断じて許すな！

人事院は、単純に民間と国家公務員の退職給付を比較した結果をもとに、官民較差の解消を政府に求めたが、労働者の実態を踏まえれば、「生涯賃金の大幅な削減」「勤務意欲の失墜」に直結する極めて深刻な問題だ。2012年度の退職手当の引き下げでは、約400万円もの生涯賃金が失われたばかりであり、度重なる手当削減攻撃に憤りを感じざるを得ない。5年前の退職手当引下げ以降も、中高年齢層職員を狙い撃ちにした「55歳昇給抑制」、「給与制度の総合的見直し」で公務員の生涯賃金は大幅に抑制されており、今回の見解は人員不足等の中で懸命に踏ん張っている職員に対して極めて厳しい仕打ちだ。

人事院見解の詳細な分析を踏まえた問題点は、順次教宣でお示しするが、現時点で明らかな問題は次のとおりであり、手当引下げはもとより、地方公務員への波及を許さない取り組みが重要だ。

《問題点①》削減でモチベーションは限界に！

退職手当は、長期の勤続に対するものであり「賃金の後払い」的意味を持つだけでなく、退職後の生活を保障する重要な手当だ。低賃金のなか懸命に踏ん張ってきて、退職時によりやっと生活できる賃金を確保できるという期待を裏切り、手当の削減を行うことは、退職後の生活に深刻な影響を与えるだけでなく、職員の勤務意欲の失墜につながる。5年前に約400万円の削減となったうえで、更に78万円の削減では「現場で頑張れ」と言われても、モチベーションは下がる一方だ。

人事院は、度重なる賃金攻撃を受けている職員の勤務意欲確保の改善に向けた見解こそ示すべきだ。

《問題点②》単純な官民比較で判断できない！

民間と公務員の雇用慣行の違いを踏まえるべきだ。民間では50歳前後で一旦退職の扱いとして退職金を支給し、その後労働条件を引き下げることで継続雇用しているところが多い。そうした民間企業の雇用慣行もあり、60歳の定年まで勤続する公務職場と同列に比較することはできない。民間企業が公務職場同様に、仮に60歳まで勤続した場合にそこまでの較差が発生するか、疑問が残る。

《問題点③》貴重な人材を失うことを誘引して良いのか？

東日本大震災からの復興に向けて職員の確保が重要課題であり、そのためにも職員の処遇改善が喫緊の課題だ。そうした中、退職手当の引き下げで貴重な人材を定年前退職に誘引すべきではない。5年前の退職手当の大幅削減時には、他県では年度途中の導入も相まって、早期退職が続出し、職場に混乱をもたらした。さらに手当引下げは若年層こそ深刻であり、生涯賃金が大幅に減少するため、貴重な人材も確保できなくなる。引下げで人材流出が加速すれば、公務職場は全く成り立たなくなってしまう。

5月2日まで！～「県職労バンド」演奏者を募集します～

6月10日（土）18時30分から、県職連合10周年・県職労70周年記念レセプションがサンセール盛岡で開催されます。「県職労バンド」（ビッグバンド）の演奏で参加者をおもてなしします。バンドの参加要件は、①楽器を持っており（トランペット、トロンボーン、サクソ（アルト、テナー、バリトン）、キーボード、ギター、ベース、ドラム）、②県職労組合員である方です。興味のある方は「県職労バンド」に加わってみませんか？詳しくは5月2日（火）まで本部書記局（電話：019-654-5800、内線（9-22）6420）まで。新採用職員等で、直ちに県職労に加入する方もOKです！